

令和2年度 館林市ヌマベーション連絡協議会設立総会 次第

日時：令和2年11月5日（木）

午後7時から

場所：ニューミヤコホテルバンケットホール
(館林市文化会館内)

1 開会

2 あいさつ

館林市「日本遺産」推進協議会
会長 館林市長 須藤 和臣

3 日本遺産「里沼 (SATO-NUMA)」について

4 館林市ヌマベーション連絡協議会について

(1) 館林市ヌマベーション連絡協議会が目指すもの・・・資料P5～7
コーディネーター 為国 孝敏氏 (NPO法人まちづくり支援センター)

(2) 地域プロデューサーからの取組報告

- ① 里沼の価値創造グループ・・・資料P8～16
橋本 淳司氏 (アクアスフィア・水教育研究所)
- ② 歴史文化継承グループ・・・資料P17～19
岡屋 英治氏 (館林文化財ボランティアの会)
- ③ 産業観光グループ・・・資料P20～22
恩田 昭一氏 (館林市認定農業者協議会)

5 意見交換

6 その他

・日本遺産「里沼」ロゴデザインの決定について・・・資料P23～24

7 閉会

館林市ヌマベーション連絡協議会設立総会 出席者名簿

(敬称略)

No	区分	所属・役職	氏名(代表者)	備考
1	コーディネーター 地域プロデューサー	NPO法人まちづくり支援センター 代表理事	為国 孝敏	
2	地域プロデューサー	アクアスフィア・水教育研究所 代表	橋本 淳司	
3	地域プロデューサー	館林文化財ボランティアの会 会長	岡屋 英治	
4	地域プロデューサー	館林市認定農業者協議会 会長	恩田 昭一	
5	里沼の価値創造	日向漁業協同組合 組合長	原 和 義	
6	里沼の価値創造	城沼漁業協同組合 組合長	寺内 吉一	
7	里沼の価値創造	近藤沼漁業協同組合 組合長	吉田 晃	
8	里沼の価値創造	JA邑楽館林千代田町緑化組合 組合長	高橋 修一	
9	里沼の価値創造	多々良沼自然公園を愛する会 代表世話人	青木 雅夫	
10	里沼の価値創造	茂林寺沼の自然を守る会 会長	古川 正道	
11	里沼の価値創造	城沼を考える市民会議 代表	針谷 慎	
12	里沼の価値創造	成島河川愛護会 会長	津布工 正義	
13	里沼の価値創造	蛇沼を考える会 会長	藤倉 直幸	
14	里沼の価値創造	日本野鳥の会群馬館林分会 会長	飯塚 政弘	
15	里沼の価値創造	多々良沼白鳥を守る会 会長	上野 秀雄	
16	里沼の価値創造	城沼白鳥を守る会 会長	坂村 孝	
17	里沼の価値創造	館林ムジナモを守る会	内藤 眞里子	代理
18	里沼の価値創造	館林クロメダカの会 会長	福島 光男	
19	歴史文化継承	館林文化財ボランティアの会 会長	岡屋 英治	
20	歴史文化継承	館林観光ボランティアガイドの会 会長	尾花 建男	
21	歴史文化継承	館林つつじガイドボランティアの会 会長	加藤 之代	
22	歴史文化継承	ぶんぶくガイドの会 会長	中村 貞蔵	
23	歴史文化継承	ふるさとガイドの会 会長	狩野 紀憲	
24	歴史文化継承	群馬県立館林美術館 館長	竹 沢 徹	
25	歴史文化継承	足尾鋳毒事件田中正造記念館 理事長	針ヶ谷 照夫	
26	歴史文化継承	館林Re-project 代表	中村 喬	
27	歴史文化継承	(株)グスタフ(劇団グスタフ) 取締役	渡邊 宰希	
28	歴史文化継承	分福酒造(株) 毛塚記念館 館長	毛塚 征幸	
29	歴史文化継承	正田醤油(株) 正田記念館		
30	歴史文化継承	日清製粉グループ 製粉ミュージアム 館長	町田 英樹	
31	歴史文化継承	茂林寺 住職	古川 正道	
32	歴史文化継承	善導寺 住職	石井 侯雄	
33	歴史文化継承	善長寺 住職	前山 秀樹	

館林市ヌマベーション連絡協議会設立総会 出席者名簿

(敬称略)

No	区分	所属・役職	氏名(代表者)	備考
34	歴史文化継承	尾曳稲荷神社 宮司	田島 義利	
35	歴史文化継承	堀工町どんと焼き保存会 会長	野村 貞雄	
36	歴史文化継承	大谷休泊遺徳顕彰会 理事長	熊倉 謹一	
37	歴史文化継承	上三林ささら保存会 会長	須永 治男	
38	産業観光	館林市認定農業者協議会 副会長 (株)多々良フレッシュファーム 代表	瀧野瀬 雅彦	
39	産業観光	館林市認定農業者協議会 (株)ガーデンデザインパラソル 代表取締役	野本 一弘	
40	産業観光	館林市認定農業者協議会	長濱 雅一	
41	産業観光	館林市認定農業者協議会	石井 雅子	
42	産業観光	館林市農業青年会議 会長	半田 健二	
43	産業観光	館林市農業青年会議 副会長	津久井 宏昭	
44	産業観光	館林市農業青年会議 副会長	中村 嘉晃	
45	産業観光	麺のまち「うどんの里館林」振興会 会長 (有)松本食品 代表	松本 大祐	
46	産業観光	館林菓子工業組合 会長 松原の片桐製菓 代表	片桐 義夫	
47	産業観光	たてう倶楽部 会長 ラーメン厨房ぽれぽれ 店主	神藤 幸竝	
48	産業観光	館林川魚組合 会長 魚たけ 代表	森田 光一	
49	産業観光	館林川魚組合 副会長 まちだ 代表	町田 光宏	
50	産業観光	館林機械金属工業協同組合 理事長 (株)誠和製作所 代表取締役	多田 征訓	
51	産業観光	群馬県立館林商工高等学校 教諭	坂本 範行	
52	産業観光	(株)シーエスラボ	樋口 博信	
53	産業観光	館林商工会議所 食品観光部会長 分福酒造(株) 代表取締役	毛塚 征幸	
54	産業観光	館林商工会議所 商業サービス部会 (有)三田三昭堂 代表取締役	三田 英彦	
55	産業観光	日本旅行業協会 東武トップツアーズ(株)館林駅支店 支店長	大谷 剛史	
56	産業観光	(一社)群馬県バス協会 東毛地区代表幹事 つつじ観光バス(株) 常務取締役	小磯 守正	
57	産業観光	HANAYAMA MUSIC FELLOWS 実行委員長 (株)プロシード 代表取締役 SUGAR HILL CAFÉ	遠藤 利和	
58	産業観光	つつじが岡公園手業市実行委員会 代表 長屋門手業市実行委員会 顧問	長倉 弘久	
59	人材育成・住民参加	まちづくりを考える研究グループ 代表幹事	山本 樹	
60	人材育成・住民参加	館林青年会議所 理事長	谷田川 明弘	

館林市又マベーション連絡協議会設立総会 出席者名簿

(敬称略)

No	所属・役職	氏名	備考
1	館林市「日本遺産」推進協議会 会長 館林市長	須藤 和臣	
2	館林市「日本遺産」推進協議会 副会長 館林市教育委員会 教育長	小野 定	
3	政策企画部長	栗原 誠	
4	市民環境部長	根岸 省子	
5	経済部長	浅野 康彦	
6	都市建設部長	村上 実	
7	教育次長	青木 伸行	
8	秘書課長	中村 豊	
9	企画課長	木村 和好	事務局
10	企画課政策推進係長	田口 真樹	事務局
11	企画課政策推進係	鈴木 誠	事務局
12	地球環境課長	荒井 裕三	
13	地球環境課環境保全係長	野村 浩一	
14	農業振興課長	吉田 智之	
15	農業振興課農業振興係長	堀越 宏幸	
16	農業振興課農業振興係	大和 憲太郎	
17	商工課長	始澤 勝也	
18	商工課工業振興係長	岩瀬 明	
19	つつじのまち観光課長	高橋 一哲	
20	つつじのまち観光課観光振興係長	畠山 忠之	
21	都市計画課長	下山 秀男	
22	道路河川課長	松本 徳雄	
23	緑のまち推進課長	松村 昌夫	
24	文化振興課長	戸叶 俊文	事務局
25	文化振興課市史編さんセンター所長 日本遺産プロジェクト	岡屋 紀子	事務局
26	文化振興課日本遺産プロジェクト	吉村 昭和	事務局
27	文化振興課日本遺産プロジェクト	岩瀬 宇	事務局
28	農業委員会事務局長	小山田 峰子	

館林市ヌマベーション連絡協議会 設立趣意書

令和元年5月20日に、市内にある沼とそこで暮らしてきた人びとが沼との共生によって育まれた沼辺文化が「里沼（SATO-NUMA）－『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化－」として、文化庁「日本遺産」に認定されました。

日本遺産は、それぞれの地域の歴史・文化の象徴にとどまらず、日本の歴史・文化を象徴する「百の物語」でもあります。その一つとして「里沼」を含む38の構成文化財が日本遺産に認定されたことに対し、これまで沼辺の自然と文化を守り、伝え、磨き上げてきた先人に敬意と感謝の意を表すると同時に、後世に引き継ぐことが今に生きる私たちの使命であります。

そのため、「里沼」に携わる全ての関係者の協働、共創のまちづくりにより、「里沼」の普遍的価値がどのようなものか、また、38の構成文化財が「里沼」の普遍的価値にどのように貢献しているのかを正しく理解し、郷土への誇りやシビックプライドの醸成を図るとともに、その普遍的価値を国内外に発信していく必要があります。また、地域資源の磨き上げやおもてなしの心により本市へ訪れる新たな顧客の創造や顧客満足度の向上を図り、交流人口や関係人口の増加を促し、地域経済の活性化につなげるのが急務となっています。

こうした「里沼」を生かしたまちづくりを推進するため、担い手となる市民、事業者・団体、行政等が連携し、情報共有するための場として、館林市ヌマベーション連絡協議会を設立し、協議会会員それぞれの立場から、構成文化財を生かした日本遺産の価値の共有、普及を図るとともに、「ヌマベーション（NUMA-VATION）」※を合言葉に、観光振興をはじめとする地域経済の活性化、地方創生に資する取組を進めていきます。

※「ヌマベーション（NUMA-VATION）」とは、「沼辺（Numabe）」と「イノベーション（Innovation）」を合わせた造語で、里沼を生かしたまちづくりにより新たな価値を創造することをいいます。

令和2年11月5日

館林市ヌマベーション連絡協議会

館林市又マベーション連絡協議会が目指すこと

(2020.10.14又マベーション連絡協議会に係る調整会議資料より)

◎又マベーション連絡協議会の目的

日本遺産認定を機に、「里沼(SATO-NUMA)のまち館林」のブランディング化による地域活性化を図るため、市内の沼に関わる人々をつなぐネットワークを形成し、官民一体となって協力、連携し、次に掲げる目的を達成するための各種事業を行う。

- (1) 協働、共創のまちづくり
- (2) 郷土への誇りとシックプライドの醸成
- (3) 里沼ブランドの確立による館林を訪れる新たな顧客の創造
- (4) 地域資源の磨きあげや、おもてなしの心による顧客の満足度の向上
- (5) 交流人口及び関係人口の増加を促し、地域経済の活性化へ寄与

◎主な活動内容・方針

会員が自主的、かつ、会員相互の連携を重視しつつ、次に掲げる事項について取り組む。

- (1) 情報共有による地域課題解決及び更なる地域活性化
- (2) 各会員による積極的な自主事業の推進
- (3) 会員間の連携事業の推奨
- (4) 地域コーディネーターを中心とした各種プロジェクトの推進
- (5) ランドナビゲーター及びボランティアガイドの育成
- (6) 各種補助事業の情報提供

すなわち協議会は、日本遺産「館林市の里沼」をキーワードに、市民が一丸となって館林市を盛り上げていくための仕掛けと推進に向けた旗振り役となること

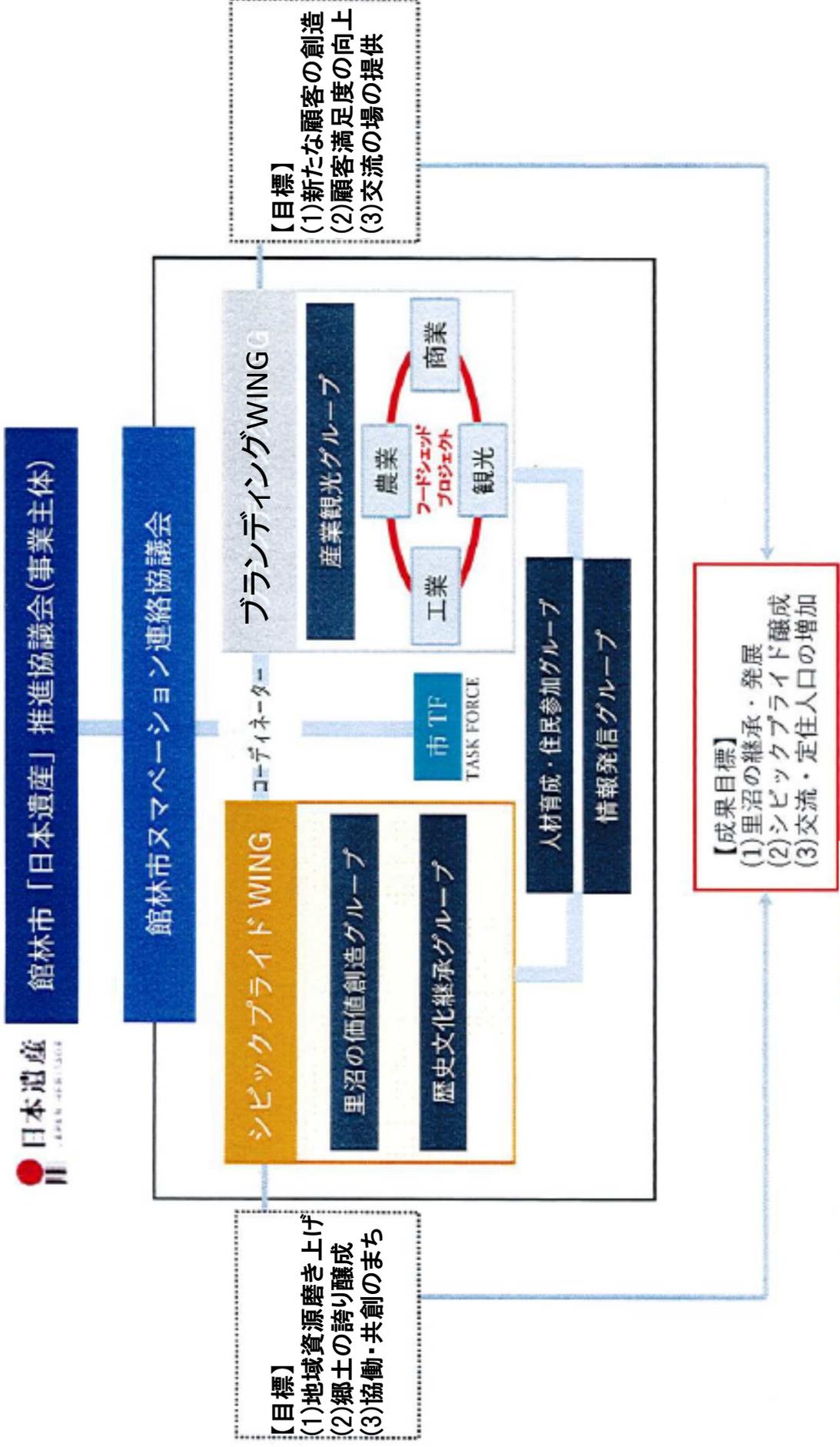
令和元年度文化庁認定



SATO-NUMA
館林市の「里沼」

里沼 (SATO-NUMA) — 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—

館林市又マベーションシヨン連絡協議会 体制図





館林市役所内「里沼」テーマ別タスクフォース

◎タスクフォースの趣旨・内容

(1) 日本遺産「里沼」に認定されたことを受け、里沼のまちづくりを推進するため、市役所内にタスクフォースを設置し、ミッション完遂型チームによる機動力の高い取組を推進する。

(2) コーディネーターを中心としたシビックプライドWING及びブランディングWINGの取組や地域プロデューサーを中心とした各グループ(人材育成・住民参加、里沼の価値創造、歴史文化継承、産業観光)の取組が円滑に推進されるよう、市タスクフォース(関係課)が側面的支援を実施する。

(3) 概ね月1回、市長、担当係長、担当者で構成するタスクフォース情報共有会議を開催し、関係課で課題や情報を共有し、ミッションの達成に向けて関係課で役割を分担しながら組織横断的な取組を進める。

◎テーマ別タスクフォース

(1) 沼辺土地活用チーム (2) 日本遺産ロゴ使用・商品ブランド化チーム (3) 体験型観光開発チーム
 (4) 里沼グローバルトランスミッションチーム(情報発信・啓発担当) (5) 水辺環境保全チーム

里沼の「いいね！」を集めましょう



橋本 淳司 水ジャーナリスト アクアスフィア 水教育研究所代表 武蔵野大学客員教授

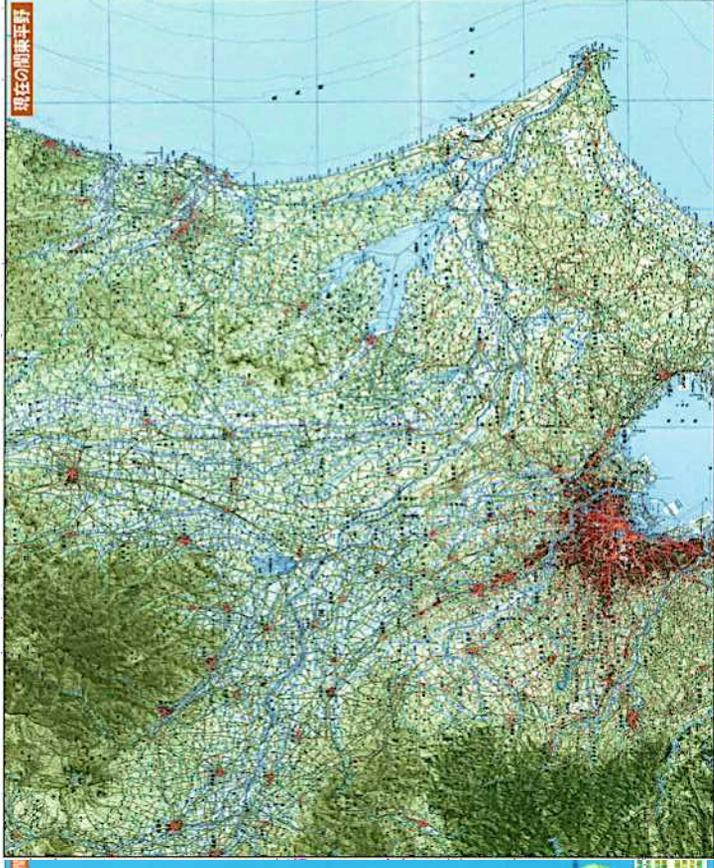
なぜ沼は減ったのでしょうか？



江戸時代



100年前



現在

人によって違う沼の「いいね！」

- 一人ひとりが「いいね！」を感じる！
- むかしからの「いいね！」を集める！
- 新しい「いいね！」を集める！
- 2070年の「いいね！」を集める！

里沼を感じよう



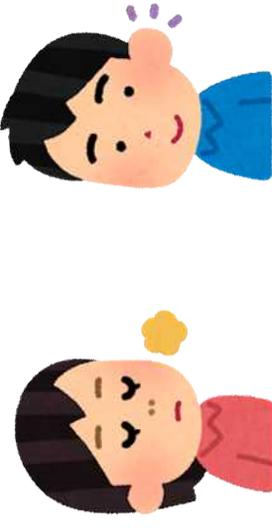
質問	4ポイント	3ポイント	2ポイント	1ポイント	感じるときのポイント
1) 水は澄んでいますか？	澄んでいる	少しにごっている (色:)	にごっている (色:)	とでもにごっている (色:)	・水のきれいさを確認します。
2) 沼に魚、エビ、ザリガニ、貝などがいますか？ (地域特有の魚)	さまざまな種類が数多くいる	さまざまな種類が いる	少ないがいる	見あたらない	<ul style="list-style-type: none"> ・種の多さを確認します。 ・地域特有の魚がいる場合、その多さを確認してもよいでしょう。 ・外来種かどうかを確認しましょう。
3) ごみはありますか？	まったくない	少しあるが、気にならない (ごみの種類:)	所々にあり、気になる (ごみの種類:)	多い (ごみの種類:)	<ul style="list-style-type: none"> ・沼に浮いているごみ、沼のまわりのごみを確認します。
4) 沼とその周辺の景色を見てどう思えますか？	とても美しい	美しい	普通	美しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・沼とその周辺をながめて確認します。 ・写真を撮りたい、絵にしたいと思うかなどと考えてください。
5) 人びとによく利用されていますか？	とてもよく利用されている (利用のされ方:)	よく利用されている (利用のされ方:)	あまり利用されていない	利用されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り、ボート、ジョギング、散歩などをしている人を見かけるかどうかを確認します。 ・調査時に利用している人がいない場合、沼のことをよく知る人に聞いてみましょう。

里沼を感じよう



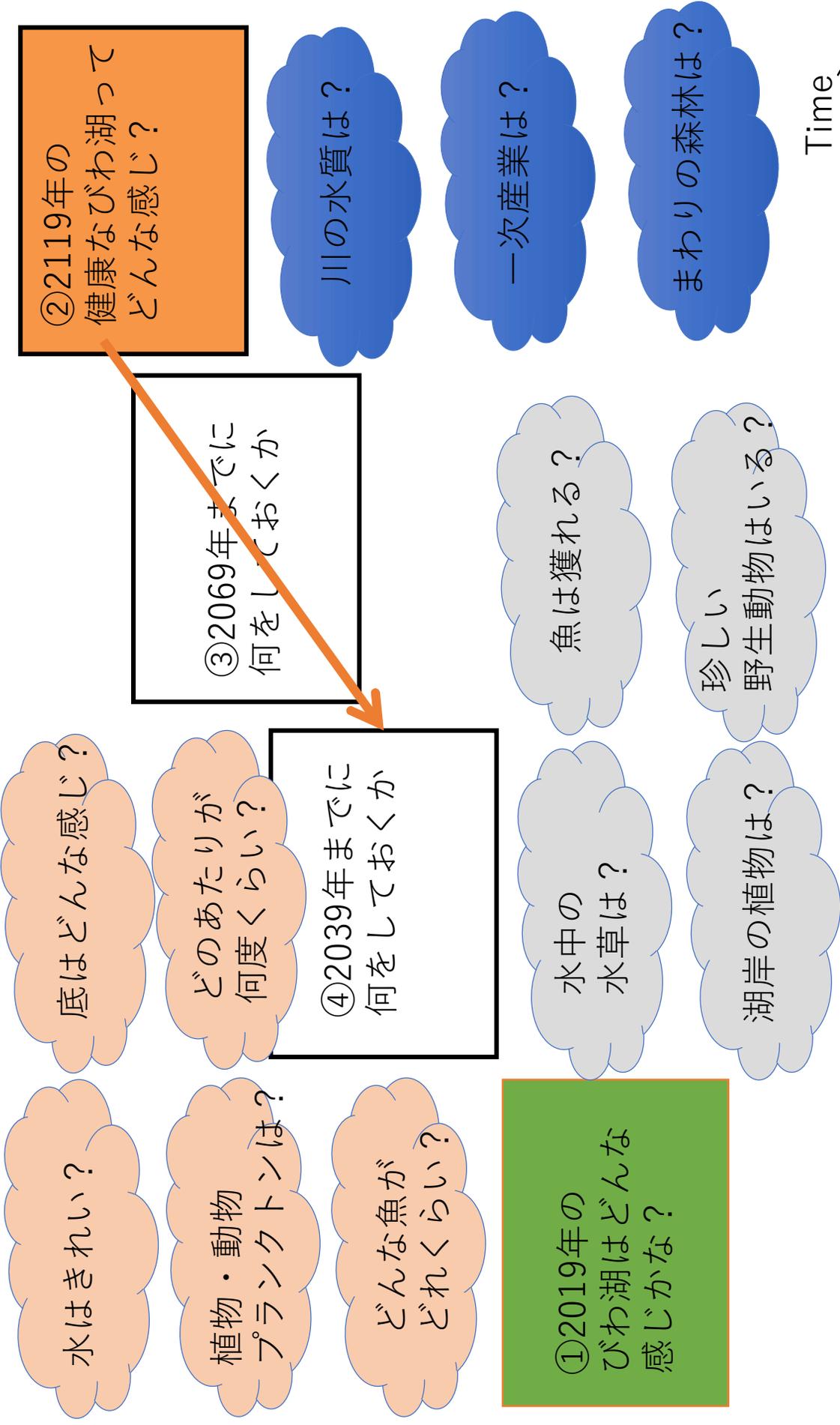
質問	4ポイント	3ポイント	2ポイント	1ポイント	感じるときのポイント
6) 沼に入ってくる水、出ていく水は流れていますか？	すごく流れている	流れている	あまり流れていない	流れていない	<ul style="list-style-type: none"> 沼に水が流れ込んでいる地点、沼から水が出ていく地点で調査をしている場合に確認します。そうでないときは無回答でかまいません。
7) いきものはいますか？ 地域特有のいきもの ()	さまざまな種類のいきものが数多くいる	さまざまな種類のいきものがある	いきものがある	いきものが見えない	<ul style="list-style-type: none"> 鳥や虫などいきものの種類の多さを評価します。 地域特有のいきものがある場合、そのいきものの多さを確認してもよいでしょう。
8) どんな植物がありますか？花や実はどうですか？ 地域特有の植物 ()	様々な種類の植物が数多くある	様々な種類の植物がある	植物はあるが種類が少ない	植物が見えない	<ul style="list-style-type: none"> 植物の種類の多さを評価します。 地域特有の植物がある場合、その植物の多さを確認してもよいでしょう。 外来種かどうかを確認しましょう。
9) 沼底にへドロはありますか？	まったくない	少しある	所々にある	多い	<ul style="list-style-type: none"> 沼底のへドロを見て確認します。 沼底が見えないときは無回答でかまいません。

里沼を感じよう



質問	4ポイント	3ポイント	2ポイント	1ポイント	感じるときのポイント
10) 自然の音が聞こえますか？	さまざまな種類の自然の音がする (音：)	種類は多くないが自然の音がする (音：)	かすかに(ときどき)自然の音がする (音：)	自然の音はしない	<ul style="list-style-type: none"> 鳥のさえずり、虫の鳴き声、水の音、草木のゆれる音、風の音などの自然の音を確認します。
11) 沼やその周辺においては臭い(におい)がする(におい：)ですか？	自然の心地よいにおいがする (におい：)	かすかに(ときどき)自然の心地よいにおいがする (におい：)	かすかに(ときどき)悪臭がする (におい：)	常に悪臭がする (におい：)	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の香り、花や木の香りなどの自然のにおいを確認します。 悪臭(へドロのにおい、生ごみのにおいなど)は、あなたがいやだと思ってしまう全般を含みます。
12) 沼にいる魚、貝、エビなどを食べていますか？(食べたもの：)	おいしく食べている (味：)	食べたが変わった味がする (味：)	調理したが食べられなかった	食べたことがない、食べたくない	<ul style="list-style-type: none"> 沼に食用の魚、貝、エビなどが存在し、食べられると思われるものがある場合に確認します。 実際に食べる場合は、各団体の判断、責任により行ってください。
13) 沼にある植物を食べていますか？(食べもの：)	おいしく食べている (味：)	食べたが変わった味がする (味：)	調理したが食べられなかった	食べたことがない、食べたくない	<ul style="list-style-type: none"> 周囲を見渡し、沼に食用の植物が存在し、食べられると思われるものがある場合に確認します。 実際に食べる場合は、各団体の判断、責任により行ってください。
14) 水に触ってみたいですか？	触りたい	触ってもよい	触りたくない	触れない	<ul style="list-style-type: none"> 水辺に安全に近づくことができ、水に触れる場所がある場合に確認します。

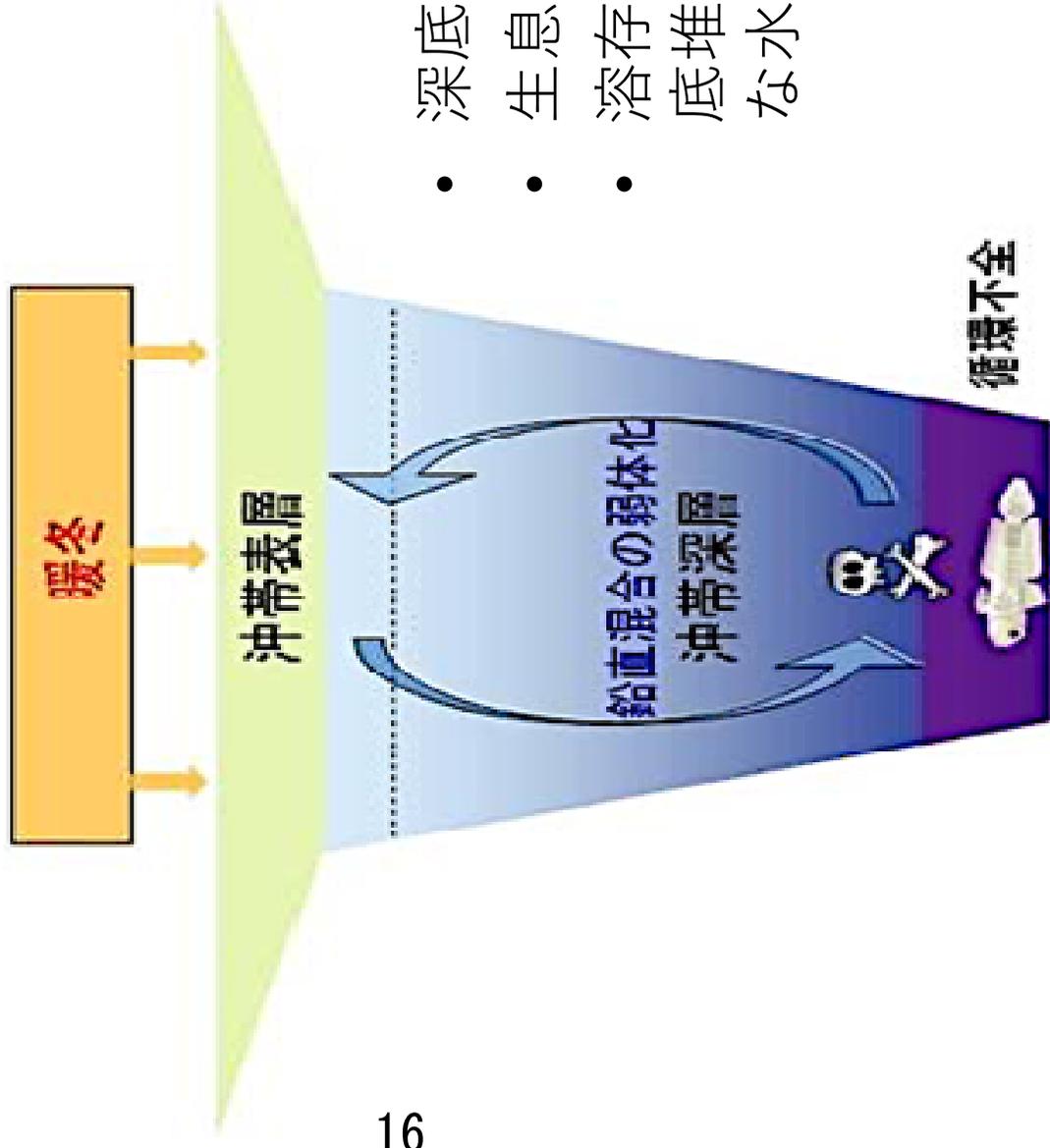
2119年のびわ湖は、どんなびわ湖か？



気候変動で沼にどんな影響が出るか

気候変動の影響	沼の変化	水質や生態系への影響	懸念される影響
水温の変化	循環、蒸発量 の変化	底層の貧酸素化	湖底利用、種の漁獲量
		底層利用種の酸欠	湖底利用、種の漁獲量
	底泥からの窒素、リンの溶出	利水、景観、臭気	
	水温の変化	生息適水温のズレ	冷水性魚類の漁獲量、遊漁
		プランクトンの変化	利水、景観、臭気
		生息水深の変化	漁業影響
	降雨の変化	増水、渇水	底泥からの窒素、リンの溶出
浮遊物質量の増加			魚類の漁獲量、遊漁、レクリエーション
透明度の変化			利水、景観、臭気
プランクトンの変化			利水、景観、臭気、観光、ボート

深呼吸を止めた琵琶湖



- 深底部の低酸素化、無酸素化
- 生息する生物の絶滅
- 溶存酸素濃度の低下とともに還元的になった湖底堆積物からリン（栄養塩類）が溶出し、急激な水質悪化

参考:ヌマベーション 歴史文化継承活動 実施例 (令和元年5月～令和2年10月)

No.	年・月・日	場所	内容	主催	協力団体等	実施の形態
1	01.05.17	城沼	里沼散策講座(城沼編)事前学習		観光ボランティアガイドの会	練習・研修
2	01.06.02	城沼	里沼散策講座(城沼編)本番	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド
3	01.06.17	本町	市内建物調査実測(魚惣本店)	市:市史編さんセンター		調査
4	01.06.19	第四小学校	土器づくり教室	第四小学校		ワークショップ
5	01.06.24	茂林寺沼	里沼散策講座(茂林寺沼編)下見		観光ボランティアガイドの会	事前調査
6	01.07.02	町中(城下町)	城沼公民館歴史講座下見			事前調査
7	01.07.18	老人センター	高齢者いきいきセミナー「館林を舞台とした歴史の話」	市:介護高齢課		講座
8	01.07.26	茂林寺沼	里沼散策講座(茂林寺沼編)事前学習		観光ボランティアガイドの会	練習・研修
9	01.08.20	茂林寺沼	里沼散策講座(茂林寺沼編)下見		観光ボランティアガイドの会	事前調査
10	01.08.22	郷谷公民館	公民館講座「里沼ってなあに」	市:郷谷公民館		講座
11	01.08.25	茂林寺沼	里沼散策講座(茂林寺沼編)本番	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド
12	01.08.30	城沼公民館、市内	城沼公民館歴史講座「ぶらバヤシ」①	市:城沼公民館		現地案内・ガイド
13	01.09.10	多々良沼周辺	里沼散策講座(多々良沼編)下見		観光ボランティアガイドの会	事前調査
14	01.09.16	朝日町会館	朝日町寿会お楽しみ講座「足元の歴史を知ろう」	朝日町寿会		講座
15	01.09.27	城沼公民館、市内	城沼公民館歴史講座「ぶらバヤシ」②	市:城沼公民館		現地案内・ガイド
16	01.09.28	武鷹館	笛作りワークショップ準備	市:日本遺産PJ	文化財ボランティアの会	事前準備
17	01.09.29	川越市	秋元家ゆかりの地交流会参加	秋元家ゆかりの地交流会	観光ボランティアガイドの会 文化財ボランティアの会	交流
18	01.09.12～ 01.09.13	高知市	日本遺産サミット参加	文化庁		参加・研修
19	01.09.13	高知市	日本遺産サミットワークショップ指導	文化庁		ワークショップ
20	01.10.18	行田市	ガイドボランティア市外研修・交流会(日本遺産認定地)	観光ボランティアガイドの会		研修・交流
21	01.11.07	老人センター	高齢者いきいきセミナー「里沼ってなあに」	市:介護高齢課		講座
22	01.11.08	城沼公民館、市内	城沼公民館歴史講座「ぶらバヤシ」③	市:城沼公民館		講座
23	01.11.17	城沼周辺	ももの木保育園学習会「足元の歴史を知ろう(城沼)」	ももの木保育園		現地案内・ガイド
24	01.11.27	市役所	ヌマベーション連絡協議会(仮称)に係る意見交換会	市:企画課		会議
25	01.11.27	東京都	文化財ボランティア市外研修(江戸城)	文化財ボランティアの会		研修
26	01.11.29	城沼公民館、市内	城沼公民館歴史講座「ぶらバヤシ」④	市:城沼公民館	城沼公民館	現地案内・ガイド
27	01.12.04	城沼公民館	ガイドボランティア「カルガモ笛」作り講習会	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	研修
28	01.12.07	武鷹館	文化財ボランティア「カルガモ笛」作り講習会	市:日本遺産PJ	文化財ボランティアの会	研修
29	01.12.11	文化会館、城沼周辺	官学連携事業案内(里沼ガイドの手引き・マップ作り等)	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド
30	01.12.20	多々良沼周辺	里沼散策講座(多々良沼編)事前学習		観光ボランティアガイドの会	研修
31	01.12.22	中部公民館	ランドナビゲータ講座①参加	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会 文化財ボランティアの会	参加研修

32	02.01.11	多々良沼周辺	里沼散策講座(多々良沼編)本番	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド
33	02.01.18	文化会館、町中	ランドナビゲータ講座②参加	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会 文化財ボランティアの会	参加研修
34	02.01.19	堀工ふれあい広場	堀工町どんど焼き	堀工町	どんど焼き保存会	構成文化財の活用
35	02.01.19	堀工ふれあい広場	堀工町どんど焼き「カルガモ笛」作り ワークショップ	堀工町	観光ボランティアガイドの会 文化財ボランティアの会	ワークショップ
36	02.01.22	美園小学校	ミニどんど焼き	美園小学校	堀工町・どんど焼き保存会	構成文化財の活用
37	02.02.02	武鷹館	「武鷹館で豆まきをしよう！」イベント	文化財ボランティアの会		構成文化財の活用
38	02.02.04	多々良沼周辺	とちぎテレビ「U字工事の旅発見」番組 制作打合せ	とちぎテレビ	観光ボランティアガイドの会	事前打合せ
39	02.02.11	芸術ホール	里沼シンポジウム参加	市:日本遺産PJ		参加・研修
40	02.02.17	茂林寺沼	「カルガモ笛」用ヨシ刈取り作業	市:日本遺産PJ		作業
41	02.02.18	多々良沼周辺	とちぎテレビ「U字工事の旅発見」番組 収録	とちぎテレビ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド・周 知普及活動
42	02.02月～ 03月		里沼ガイドの手引き作成	市:日本遺産PJ	観光ボランティアガイドの会	周知普及活動
43	02.02.07～ 03.05	武鷹館	「武鷹館ひなまつり」イベント	文化財ボランティアの会	観光ボランティアガイドの会	構成文化財の活用
44	02.07.23～ 08.16	武鷹館	「むかしあそびをしよう！」イベント	文化財ボランティアの会		構成文化財の活用
45	02.07.12	市役所	群馬テレビ「ぐんま！トリビア図鑑」制 作打合せ	群馬テレビ	観光ボランティアガイドの会	事前打合わせ
46	02.08.02	武鷹館	群馬テレビ「ぐんま！トリビア図鑑」撮 影打合せ	群馬テレビ	観光ボランティアガイドの会	周知普及活動
47	02.08.04	町中	群馬テレビ「ぐんま！トリビア図鑑」番 組収録	群馬テレビ	観光ボランティアガイドの会	現地案内・ガイド・周 知普及活動
48	02.09.13	旧二業見番、旧秋 元別邸	日本遺産認定記念「落語会」	まち研	観光ボランティアガイドの会 文化財ボランティアの会	構成文化財の活用
49	02.08月～ 03.01月	中部公民館、市内	スキルアップ研修(実施中)	観光ガイドボラン ティアの会		研修、スキルアップ
50	02.10.01、 10.29	武鷹館	武鷹館Deお月見会(10/1十五夜、 10/29十三夜)	文化財ボランティアの会	観光ボランティアガイドの会	構成文化財の活用

フードシェッドプロジェクトについて

【事業概要】

「農業」を起点とした「商業」・「工業」・「観光業」の異業種間で連携をする、いわゆる農商工連携により、各業種が有機的に繋がることで、「たてばやしブランド」の新たな価値・商品・サービスの開発、販路拡大・多様化を目的としています。

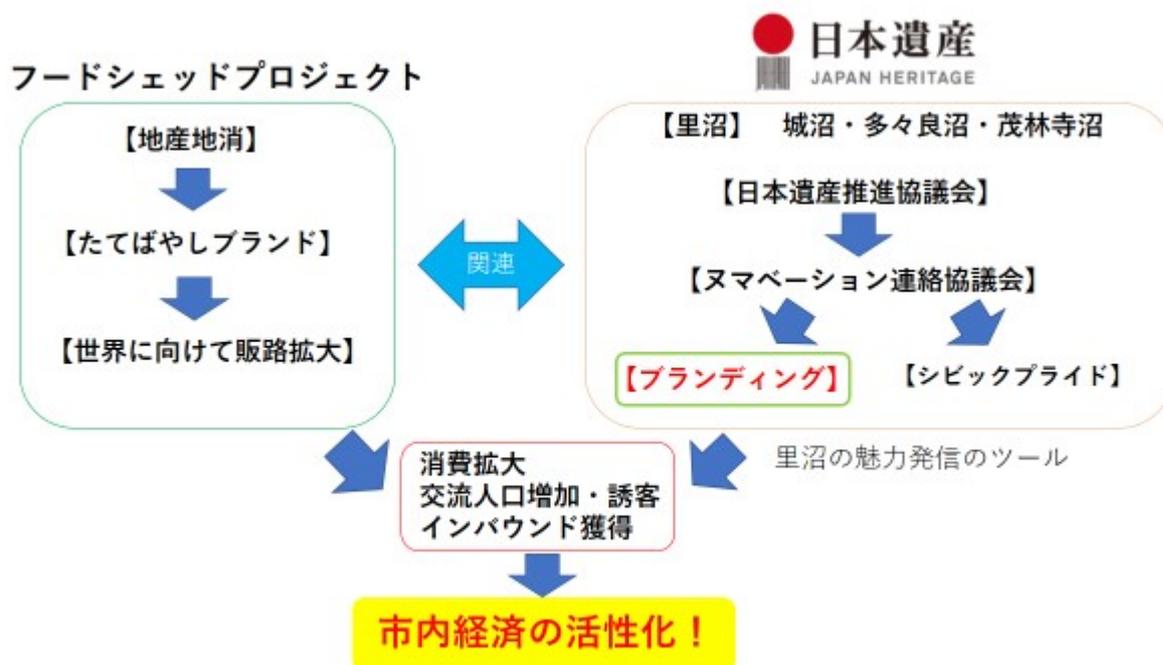
このサイクルから「地産地消」や「たてばやしブランド化」の取組を進め「世界に向けて販路拡大」により、市内経済の活性化につなげるものです。

また、ヌマベーション連絡協議会のブランディング部門とフードシェッドプロジェクトを関連づけることで、里沼の魅力発信のツール・観光コンテンツとして活用し、相乗効果による消費拡大・交流人口の増加・誘客効果など、市内経済の活性化につなげようとするものです。

【フードシェッドプロジェクトイメージ】



【日本遺産との関連イメージ】



【フードシェッドプロジェクト開催実績】

○第1回フードシェッドプロジェクト交流会を実施（令和元年11月29日）

飲食を交えた交流会を実施し、事業内容の共有を行った。
各業種の出席者間の情報交換による今後の事業展開の基礎を確立。

○第2回フードシェッドプロジェクト意見交換会を実施（令和2年1月28日）

フードシェッドプロジェクトメンバーにアンケート調査を実施し、現状・課題・希望等を確認し、農商工連携への方針の協議を実施。
館林駅連絡通路の利活用の検討。

○第3回フードシェッドプロジェクト意見交換会を実施（令和2年7月30日）

現状での農商工連携事業の進捗状況の報告・今後の展開について情報共有。
館林駅連絡通路の利活用のための出店調整等。

【意見交換会の様子】



(第2回意見交換会)



(第3回意見交換会)

○館林駅連絡通路にて実証実験としてミニマルシェを実施

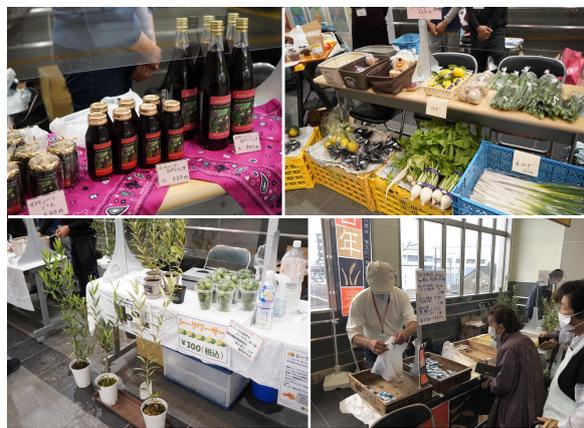
(令和2年10月23日)

公共空間を新たに有効活用し、たてばやしブランドをPRするため、地産地消をテーマとして、フードシェッドプロジェクトメンバーらが地場産農産物や、百年小麦を使用した和菓子、ジェラート、ジュースなどを販売。

【マルシェ当日の様子】



(会場全体)



(各ブースごと)

【今後の事業予定】

- 駅連絡通路を活用し地産地消関連の物販
- 意見交換会の実施
- 農商工連携・地産地消に関するマッチング
- たてばやしブランド化への支援

日本遺産「里沼」ロゴデザインの決定について

1 目的

館林市の「里沼」PRのため、日本遺産 館林の「里沼」の統一デザインを開発する活動をとおして、地元学校の生徒と連携し、次世代を担うクリエイター育成や協働を支援します。

2 これまでの活動状況について

群馬県立館林商工高等学校、地元デザイナーと連携し、館林の「里沼」をPRするロゴデザインを作成し、投票によって1作品を決定しました。

- (1) 館林商工高等学校の生徒と地元デザイナーが連携し、約120作品のロゴデザインを作成
- (2) 1次選考を実施し、17作品へ選定（館林商工高校教員と地元デザイナーで協議）
- (3) 2次選考を実施し、7作品へ選定（日本遺産関係部署で投票実施）
- (4) ロゴデザイン7作品を地元デザイナーが修正
- (5) 公民館、向井千秋記念子ども科学館、つつじ映像学習館、アゼリアモールにおいて市民投票を実施し、最多得票を得た1作品を選定

3 採用ロゴデザイン決定について

市内各所で行われた市民投票において最多得票を得た下記デザインを日本遺産 館林の「里沼」ロゴデザインに決定しました。



デザインコンセプト

- ・沼の特徴を、白鳥(多々良沼)・つつじ(城沼)・葦(茂林寺沼)で表現。
- ・円の中に三分割でデザインし、一体感を表現
- ・海外のお客様にも分かるように、英語表記

4 投票結果について

総投票数 3,284票

獲得票数 646票 (19.7%)



-sato-numa-
morinjinuma / tataranuma / jyouuma
inori-misotsu-mamori

獲得票数 339票 (10.3%)



SATO-NUMA
JYOUNUMA TATARANUMA MORINJINUMA

獲得票数 361票 (11.0%)



里沼
SATO-NUMA

獲得票数 555票 (16.9%)



祈
美
里沼
SATO-NUMA

獲得票数 248票 (7.6%)



TATEBAYASHI
里沼
SATO-NUMA

獲得票数 490票 (14.9%)



さとぬま

獲得票数 582票 (17.7%)

～ メ モ 欄 ～



日本遺産

JAPAN HERITAGE